

“東日本大震災後の子どもたちへの支援” ～心理士からみた震災～

東日本大震災から9年目を迎えようとしています。東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室“S-チル”では、震災後の被災地で子ども支援を行ってきた心理士の皆さまに、活動にあたって、何を迷い、何に困り、何を目指して支援を続けてきたのか、それぞれのご苦労や思いについてお話をうかがいたいと思います。

○報告1

「活動を通して子どもの変化から感じること」

社会福祉法人大洋会 児童家庭支援センター大洋
支援相談員兼心理療法士 大和田綾子氏

○報告2

「震災後の乳幼児健診における心理支援活動」

臨床心理士 二井奏子氏

○報告3

「東日本大震災発災後から現在までの、子どもたちへの支援を
通して得られた気づき ～現地のスクールカウンセラーの立場から～」

臨床心理士 鈴木正貴氏

○質疑応答

開催日時：2020年2月22日（土） 13：00～16：00

- ・ 会 場：東北大学 川内北キャンパス マルチメディア教育研究棟(A05)
6階大ホール（※例年とは異なる会場になります）
- ・ 参加者：テーマに関心のある方はどなたでもご参加ください
- ・ 参加費：無料
- ・ 定 員：100名（定員になり次第締め切り）
- ・ 申込方法：電話、FAX、E-mailでお申し込みください



問い合わせ先 東北大学大学院教育学研究科震災子ども支援室”S-チル”

☎ & Fax 022-795-3263 / メールアドレス s.children@sed.tohoku.ac.jp

